



## 物流安全

### 物流の品質・安全向上に向けた取組み

安心した物流品質の提供がお客様からの信頼獲得に繋がるとの信念のもと、物流品質の向上に日々取り組んでいます。物流品質の柱は「納期、一連の作業の質、安全作業」と考え、協力会社も含めたスタッフの教育に力を入れています。2017年度は保税業務での外国貨物の取り扱いなど具体的な事例をもとに勉強会を開催しています。また、ローリー漏えいを想定して、関係者が取るべき処置等を改めて確認しました。



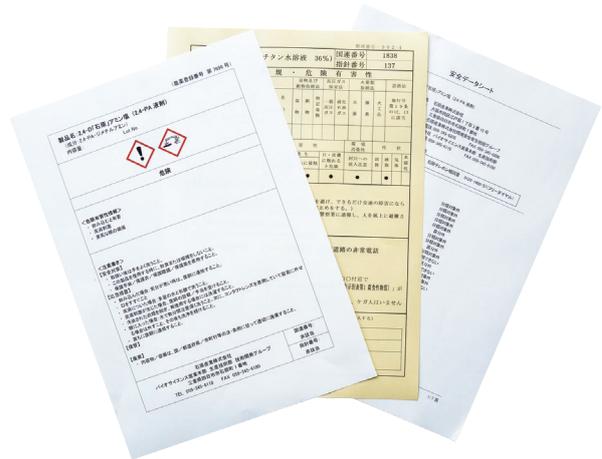
協力会社との合同勉強会



## 化学品・製品安全

### 安全データシート等による情報提供

当社の製品はそれを使用される企業で働く人、物流に携わる人、消費する人等様々なステークホルダーの手に渡っていきます。当社では、製品に係わる化学物質に関する情報を安全データシート等に落とし込んで、積極的にステークホルダーに提供しています。化学物質は外観から直ちに危険性が分かりません。危険性に関する情報等を伝達することは、供給者の社会的責任と認識し、法令上開示が要求される物質だけでなく、当社で扱う化学物質を対象に、広く情報伝達を行っています。



当社が提供する安全データシート等

### 人・環境にやさしい農薬開発を目指して

人や環境に影響を与えない、より良い商品を社会に供給することを目的に製品開発を行っています。とりわけ中央研究所では、農薬となりうる有望な化学物質を見つけ出すために数多くの新規化合物の合成に取り組んでいます。農薬開発を進める各段階で多種多様な安全性評価を繰り返し、安全な農薬を供給しています。廃棄物が少なくすむ原料を選定するなど環境負荷を考えた原料調達もを行っています。



人・環境にやさしい農薬開発